



みさき

42号

美咲町議会だより



主な内容

こんなことが決まりました ————— 6～7

27年度決算を認定 ————— 4～5

13議員が町政を問う ————— 14～26

表紙の写真は私たちです ————— 27

大きく育て美咲の子ども みらい 将来に向けて 華咲き誇れ

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

2015年11月10日発行



もっと若い人たちの意見が反映されるような工夫が必要。

地域が限定されるような議員の質問を議会で行うのはイメージが良くない。町全体の状況について議員としての自覚を持って質問してほしい。

議会と町民は両輪のごとくあるべき。

持続可能な社会を目指すための実践的な例を示してほしい。

208人から叱咤・激励

8月25日～27日に町内3会場（中央・旭・柵原）で3日間同時開催しました。会場で実施したアンケートのご意見を紹介します。（写真の方とご意見に関連はありません）

— 貴重なご意見誠にありがとうございました —





合併10周年記念事業 美咲町議会報告会・意見交換会

議会は執行部の追認機関
ではないと覚悟すべき。

大変有意義な会であり、是非
続けてほしい。できれば意見
交換の時間をもっと長く。

町民と議会の直接対話

将来に向けての夢を語り、
その夢を実現できる議会
であってほしい。

いつも原案どおり可決や作文
を読んでいるだけの議会では
意味がない。



厳しい中にも 徐々に改善傾向

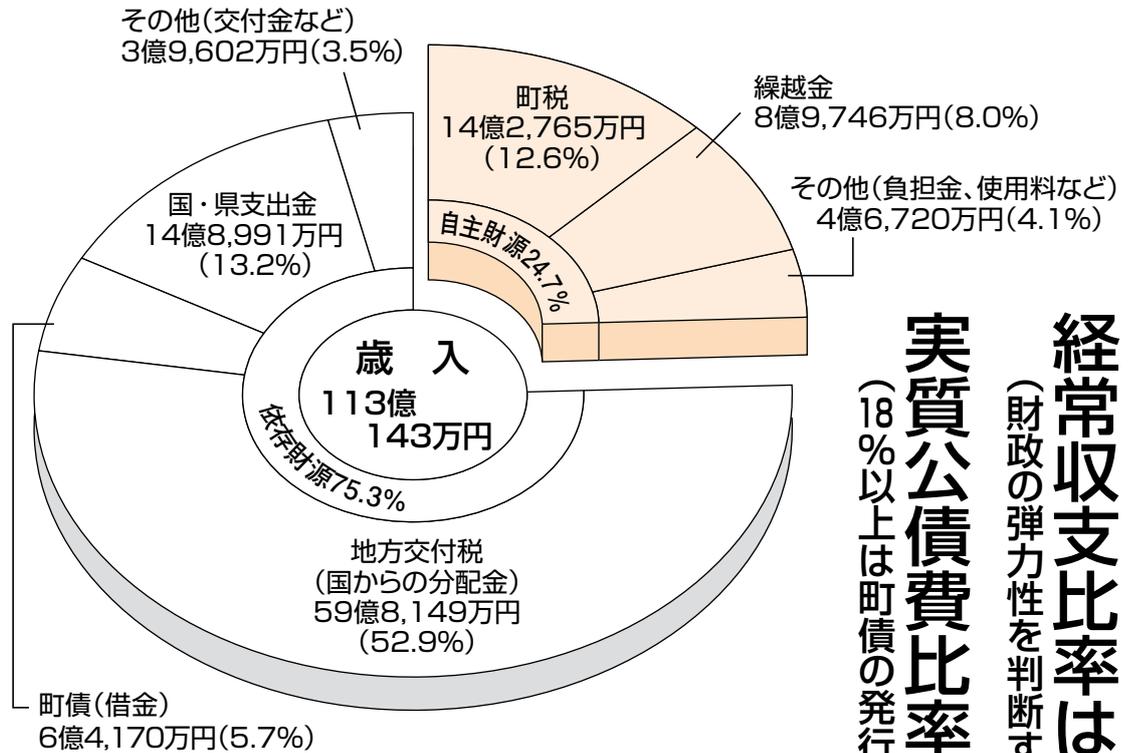
歳入113億143万円 (25年度比5.6%の減)
 自主財源は約28億円 借金の返済に約21億円

26年度歳入歳出決算報告

一般会計決算

収入未済額 1億1,662万円
 (集金が遅れているもの)

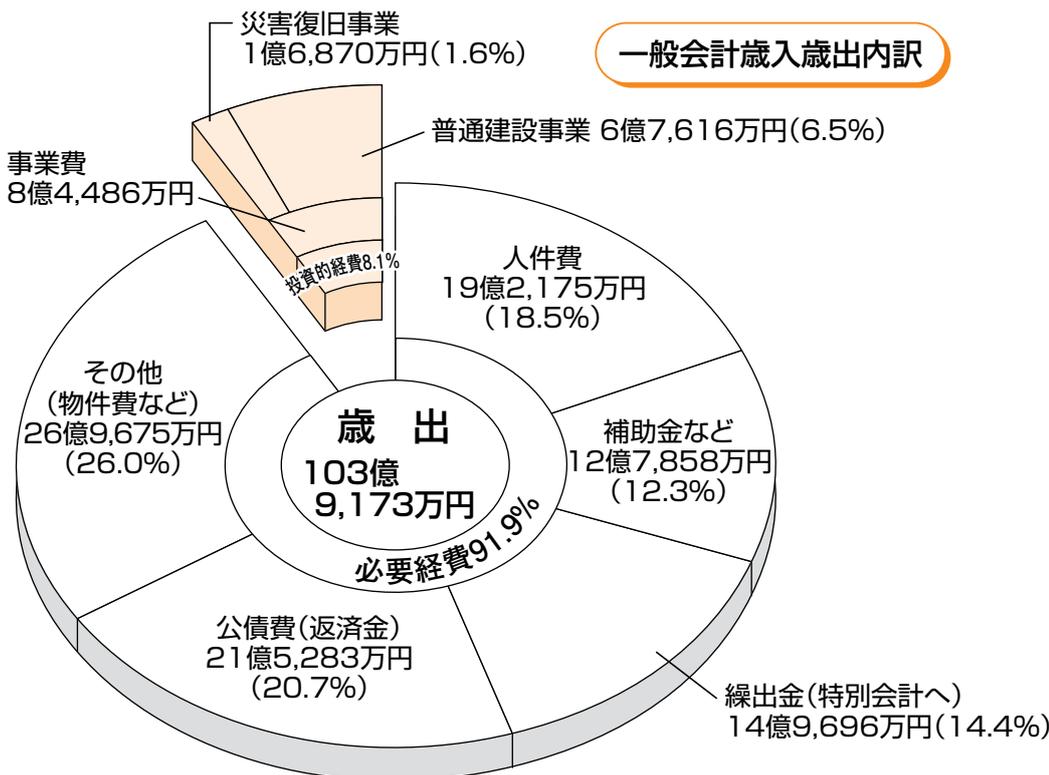
不納欠損額 1,240万円
 (死亡などにより集金が不可能になったもの)



経常収支比率は82.6%
 (財政の弾力性を判断する指数 75〜80%が健全とされる)

実質公債費比率は13.6%
 (18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

一般会計歳入歳出内訳



平成26年度決算認定は**賛成多数**で可決

[決算認定特別委員会委員長報告]

26年度一般会計の実質収支は9億970万円の黒字決算となっている。町税の納付状況は、多額の未収額が報告されており、全体的な徴収率を上げて自主財源の確保に努力を求めた。

地方債(借金)の現在高は、132億6,406万円。前年と比較して13億3,000万円減少した。基金(貯金)の残高は64億6,563万円。前年と比較して3億3,449万円増加している。

本町の財政構造を見ると、経常収支比率が前年に比べて0.5%上昇、財政力指数も0.237に留まっており厳しい状況であるが、実質公債費比率は前年より1.8%減少し徐々に改善傾向にある。さらなる経常経費の抑制を図り、一層の健全財政への努力を求めて26年度決算を承認した。

反対!!



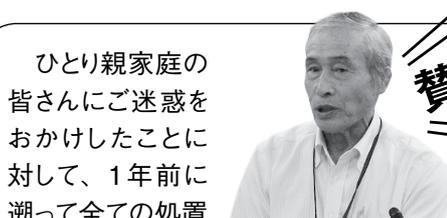
松田英二議員

26年度決算審査の過程で、保健年金課の決算において「ひとり親家庭等医療費」が一部の世帯に対して1年間全く支給されていない状況が確認された。

支給対象となる約35万円は本来ならば26年度決算に含まなければならない。さらに、この不祥事が全く報告されなかった。以上の事から決算認定には反対する。

討論

採決



岡田 壽議員

ひとり親家庭の皆さんにご迷惑をおかけしたことに對して、1年前に遡って全ての処置を行い、職員の処分も行ったとの報告を受けている。

今後、二度とこのような不祥事を起こさないという反省点も含めて決算認定に賛成する。

賛成!!

賛成多数で可決

賛成13人	小林議員 左居議員 片山議員 延原議員 形井議員 岩野議員 金谷議員 江原議員 三船議員 松島議員 下山議員 山本議員 岡田議員
反対1人	松田議員
欠席1人	林田議員

○議長は採決に加わりません。

監査委員はこう考える

◆指定管理者制度

地域間の類似施設において、管理費に相当な格差が見受けられる。単年度の実績を踏まえ、さらなる格差解消に努めること。

◆みさきネット事業の推進

加入者への情報提供を充実させると共に加入率のさらなる向上に努めること。

◆県事業の計画的な要望推進

地域住民の要望を最大限に反映させ、計画的かつ効率的な推進を図ること。

◆未収金の滞納整理

公平な負担の原則から滞納整理に努め、全庁的な徴収体制、一元的な取り組みを進めること。

◆生活保護費に係る事務の効率化

本庁および支所の事務分担を見直し、事務の効率化に努めること。

◆支所間バスの運行

利用者も少なく運行経費に相当な負担を要している。費用対効果の向上に努めること。

椅子が新しくなります

一般会計補正予算など37件の議案が上程されました。

旭保育園の子ども用トイレがより使いやすく

旭保育園の子ども用和式トイレを洋式トイレに変更。

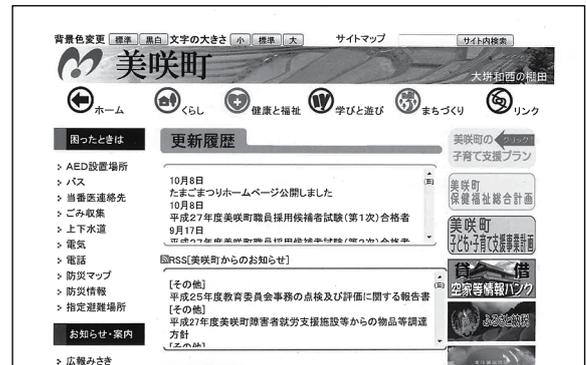
〔保育園管理費252万円〕



美咲町ホームページを一新します

町のイメージアップを目指して、インターネットのホームページを新しく。

〔情報化推進費1,534万円〕



消防関連施設の維持・補修が必要に

栗子地区に設置した消防機庫に下水道を接続、その他。

〔消防施設費150万円〕



重たかった机・椅子が使いやすく

打穴体育館に机20台、椅子150脚を新たに配置。

〔体育施設管理費319万円〕



補正予算

◎ 一般会計補正予算

歳入歳出の総額に5億7,654万円を増額する。

【主な歳入】

☆ 地方交付税

2億7,460万円

☆ 国庫支出金

2,672万円

☆ 繰入金

△4億8,000万円

☆ 繰越金

8億2,579万円

☆ 町債

△3,495万円

【主な歳出】

★ 基金積立金

2億8,200万円

★ ホームページ更新費

1,534万円

★ ゴミ処理管理費

2,872万円

★ 山村活性化交付金

1,005万円

★ 公債費

1億6,146万円

9月議会

でこんなことが
決まりました

打穴体育館の机

9月3日～24日まで定例議会が招集され27年度

旭グラウンドの照明設備を修繕

旭グラウンドに設置している照明設備の配電盤を修繕。

〔体育施設運営費86万円〕



加美小学校の老朽倉庫を更新

完成後20数年が経過した加美小学校器具倉庫の更新を実施。

〔小学校管理費138万円〕



議員発議

地方財政の充実・強化を
求める意見書

地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特別の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

この内容を強く求める意見を
を日本政府に対して送付した。

政治倫理調査

特別委員会を設置

美咲町議会基本条例第17条の定めるところにより、政治倫理調査特別委員会の設置を平成27年9月定例議会において議決した。

委員長 松田 英二

副委員長 三船 勝之

委員 延原 正憲

委員 岩野 正則

委員 金谷 高子

委員 松島 啓

委員 下山 和由

委員 山本 宏治

条例

マイナンバー始まる

証明等手数料条例の一部改正
個人情報保護条例の一部改正

マイナンバー法施行に伴う
条例改正。

みさきネット管理適性化

みさきネット分担金徴収条
例の全部改正

みさきネットの設置及び管
理に関する条例の全部改正

みさきネットの管理をよ
り適正に行うための条例改
正。

要望

町内業者の指名に配慮を
求める要望

美咲町建設業協会

会長 寒竹伸壽

町においては現在も町内業
者の育成に配慮した体制が構
築されていることから趣旨採
択とした。

委員会 の活動

総務常任委員会からの報告

総務常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／形井 圓 委員／延原正憲、江原耕司、三船勝之、貝阿彌幸善の6人で審議しています。

【総務課】 ふるさと納税

問 ふるさと納税額250万円は実績額か。

答 今回の段階で163万5,000円の納税があり、250万円は年間の見込み額である。

【まちづくり課】 結婚推進事業

問 婚活イベントの実施予定はあるのか。

答 今年11月4日に「まきばの館」で婚活イベントの開催を予定している。今後も順次企画を立案して進める。



【竹田市役所での研修会】

定住促進事業に積極的に取り組んでいる先進地である大分県竹田市の視察研修を8月6日に実施した。

「内に豊かに、外に名高く」を基本理念とした農村回帰宣言を平成21年に行って都会から竹田市に回帰を促す体制構築に努力を続けている。

貴重な意見交換を踏まえ、本町で対応可能な施策を提言していきたい。

【情報交通課】 みさきネットの条例改正

問 みさきネット条例で、「業務区域は町長が定める」という条文は修正の必要がある。

答 新規設置の際に莫大な費用を想定したものが、「業務区域は町内全域とする」に修正する。

【税務課】 町税の滞納整理

問 町税の滞納整理に専属職員を配置する考えはないか。

答 県滞納整理組合のノウハウなどを学びながら滞納整理に努力する。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、健康福祉課、子ども課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／松島 啓 副委員長／金谷高子 委員／林田 実、小林達夫、左居喜次の5人で審議しています。

【住民課】 新クリーンセンター稼働

問 ゴミ収集運搬に地元業者の参入はできないか。

答 搬入時に中身の検査がある。ゴミの分別が徹底できれば地元参入も考えられる。

【子ども課】 保育園での要望事項

問 各保育園で整備が必要なところはないか。

答 かめっこと柵原東で玄関扉が重く危険である。早急に交換したい。

【福祉事務所】 生活困窮者自立支援

問 生活困窮者自立相談支援事業の成果はあったのか。

答 作業所へ1人就労した。4月から15件くらいの相談がある。



【玉名市元気会との勉強会】

介護予防および健康づくりの先進地である熊本県玉名市「たまな元気会」の視察研修を8月4日に実施した。

事業主体は住民であり、高齢者を中心とした活動を行政からの補助金には極力頼らずに行っている。

本町のこれからの健康づくり、介護予防にも参考にしていきたい。

【教育総務課】 テムズへの短期留学

問 中学生のテムズへの短期留学は毎年選考基準が違っている。統一すべきではないか。

答 考え方がいろいろあり、今回は3年生だけにこだわらず抽選にした。今後検討したい。

執行部に対して意見を付す

《ひとり親家庭等医療費未払いへの対応》

ひとり親家庭等医療費については、26年度給付分が一部未払いの状態で放置されていた。

- ①早急な支払い手続きの完了
- ②未払いの原因を究明し、時系列で報告
- ③再発防止策の詳細な説明

以上3点について執行部の早急な対応を求める。

委員会 の活動

産業・建設常任委員会からの報告

産業・建設常任委員会は、上下水道課、産業課、建設課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／下山和由 副委員長／岩野正則 委員／片山 剛、松田英二、岡田 壽の5人で審議しています。

【産業課】 6次産業化に向けた推進

問 山村活性化支援交付金1,005万円の内容は。

答 旭地域の営農組織などの各種団体が特産物の加工・開発に取り組むための新規事業で、3年間実施する。

【建設課】 道路維持管理費の増額

問 この時期に道路維持管理費が2,700万円も増額される理由は何か。

答 道路の陥没や側溝の修繕など地元要望、行政相談などに対応するため必要となる予算。



【繁盛する大山町農協直営店舗】

6次産業化の先進地、大分県日田市大山町農協の取り組みについて8月5日に視察研修を実施した。

特産物販売所と農家レストランを融合させた店舗「木の花ガルテン」を9店運営することで、約800世帯の農家の収益を確保する体制が確立されている。

本町においても農家の収益が増加し、次の世代への継承がスムーズに引き継がれる体制づくりの確立を目指していきたい。

【上下水道課】 水道メーターの交換

問 水道メーターの交換費用が計上されているが、全部交換するのか。

答 今回550軒交換する。メーター寿命は法律で8年と決まっている。このため全部の交換が必要となる。

執行部に対して意見を付す

《公共下水道雨水対策の計画変更》

平成24年度以降で公共下水道雨水対策に取り組んできたが、ここに来て大幅な計画変更が行われている。これまでに支出された経費総額、補助金の返還、新計画と旧計画の比較などの数値を示した納得のいく説明を求める。

決算認定特別委員会からの報告

決算認定特別委員会は、議会が承認した予算が適正に執行されているかを確認するため、全ての課が所管する決算について審議を担当しています。

委員長／岩野正則 副委員長／江原耕治 ほか全議員を委員とする16人で審議しています。

【総務課】 合併10年の検証

問 合併後10年が経過したが、合併効果の検証はできたか。

答 当時の数値比較はできるが適正化については検討の必要がある。

【子ども課】 児童虐待相談

問 育児放棄が増加傾向にある。対策は。

答 親育ちができていない。給付金などの経済的支援で虐待連鎖を断ち切りたい。

【健康福祉課】 ひとり親家庭医療費

問 ひとり親家庭への医療費が給付されていないのはなぜか。

答 26年度の事務手続きにミスがあり、一部の医療費が給付できなかった。



〔26年度から黄福タクシー制度を 全域に導入〕

○登録者数 …………… 1,436人
○利用人数 …………… 21,033人
○個人負担 …………… 16,984,620円
○町負担 …………… 22,209,100円
(平成26年度末現在)

○利用できる会社
(平成27年度9月末現在)

- ・有本タクシー
- ・西川タクシー
- ・介護タクシーそよ風
- ・介護タクシーみあげ

【教育総務課】 スクールカウンセラー

問 スクールカウンセラーを配置したことで変化はあったか。

答 学校の先生では対応できないことについて、着実に成果が出てきている。

【生涯学習課】 美咲町史編纂

問 町史編纂に着手して2年が経過、完成時期は。

答 28年に地区誌編を出版し順次進めて32年度までには編纂を完了させる。

【上下水道課】 水道料金滞納処理

問 水道料金を滞納すると水道は止められるのか。

答 料金を3カ月滞納すると水道停止の措置をとっている。停止通知でほぼ入金となる。

議会費あれこれ

◎ どれくらいお金がかかっているの？

A 議会運営にはこのくらいかかっています。

項目	金額
議員人件費	6,155万9,574円
一般職員人件費	1,279万390円
経常管理費	472万5,691円 (議長交際費29万5,800円含む)
各種負担金(退職議員の年金など)	3,045万1,000円
合計	1億952万6,655円 (一般会計に対して1.05%)

◎ 報酬ってどれくらい？

A 月額報酬は次のとおりです。

議長	31万5,000円
副議長	26万2,000円
常任委員長	24万6,000円
議員	24万円

◎ 何日くらい活動しているの？

A 年間の活動日数です。

議長	243日 (町外・県外を含む)
副議長	148日 (町外・県外・国外を含む)
議員(14人)	平均133日 (町外・県外・国外を含む)

各議員によって異なりますが、表記の数字に各地域行事への参加日数が加算されることとなります。

※表記の報酬に加えて期末手当を6月に1.45カ月分と12月に1.65カ月分支給しています。

※議会だより編集委員6人には年額4万円(委員長は5万円)を支給しています。

※議会選出の監査委員1人には、出頭日数×7,400円を支給しています。

※組合議会開催時には、各組合から費用弁償を支給しています。

◆他の市町村議会が支給している政務活動費・委員会手当などは支給していません。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
14	延原 正憲	1. 税外収入の確保策をどう考えるか 2. みさきネットの普及策展開は
15	下山 和由	1. 進む高齢化社会に早めの対応を 2. 農地を荒廃させない方策は
16	小林 達夫	1. イベント時の駐車場に中学校グラウンドを 2. 積極的なイベント参加で地元PRを
17	三船 勝之	1. 農業構造改革の考えは 2. 古民家修繕の補助金を制度化する考えは

ページ	議員名	質問内容
18	左居 喜次	1. 美咲町のち・平和の日制定を 2. 両山寺の護法祭を国宝へ
19	片山 剛	1. 住民の要望に添った道路整備を 2. なぜ8月分の介護保険料は高かったか
20	形井 圓	1. 通学路の危険を取り除く努力を 2. 危険箇所整備についてはその都度要望すべき ◇ 各種補助金の漏れのない支給に努力を ◇ 職員の安全管理はどのように実施しているか
21	岩野 正則	1. 有害鳥獣対策に今以上の取り組みを 2. 町が元気になる取り組みを
22	松田 英二	1. マイナンバー制度のメリットとは 2. 地方交付税の減額は緩和されないのか

ページ	議員名	質問内容
23	松島 啓	1. 地域包括ケアシステムの構築を 2. ごみの分別、排出方法の徹底を ◇ 介護予防につながる取り組みは
24	山本 宏治	1. ふるさと納税に美咲町ならではのお返しを 2. 電気柵の安全使用の徹底を ◇ 町民の意見を次年度予算へ反映させるべき
25	金谷 高子	1. 柵原中学校その後の検討は 2. 気兼ねなく利用できるサポートセンターに ◇ 共同調理場の計画は
26	岡田 壽	1. 公共施設の管理計画策定はまだか 2. 地元に残る人へも恩恵を ◇ マイナンバー制度の影響は

議会だよりには、
2問まで掲載しています。
掲載できなかった質問は
◇で表示しています。



税外収入の確保策を どう考えるか

町政を問う
一般質問

延原正憲 議員



プロジェクトを組んで 研究する



入札に参加してネ



合併特例による
地方交付税の減額
など、今後の財政運営
はますます厳しくなる。
「入りを図って、出を
制する」が財政の大原
則である。

遊休町有地の売却実
績と処分方針を問う。



煙尾まちづくり課長
過去3年間の売
り払い実績は33件5,
293万円である。

現在、公共施設等総合
管理計画で全ての町有財
産を洗い出しており、その
管理計画の中で処分の基
本方針を定める。

不要な普通財産は原
則広報みさきに掲載す



普通財産の売却
以外の税外収入策は、
進める。



定本町長
税外収入を確保
することは、我が町にと
つて大変有意義なことだ。

- ① ふるさと納税の推進
- ② 小型水力発電によ
る売電
- ③ 町ホームページの
広告収入
- ④ 定期預金で運用し
ている基金の運用
方法の見直し

などを考えており、今
後、プロジェクトを立
ち上げて研究を進める。



みさきネットの 普及策展開は



おくやみ放送を4月から実施中



これまで、みさき
ネットのケーブル
テレビ加入促進策とし
ておくやみ情報をデー
タ放送してはどうかと
提案していたが、すでに
dボタンで確認できる。
町民に周知されてい
るのか。

また、4月以降のケ
ーブルテレビ拡大策で
どのくらいの実績が上
がったのか。



遠藤情報交通課長
おくやみ情報は
4月から文字情報で放
送しているが、周知で
きていない。

画面での確認方法も
含め、広報でお知らせ
したい。



今年7月末での加入
件数は3,789軒で
大きな動きはない。

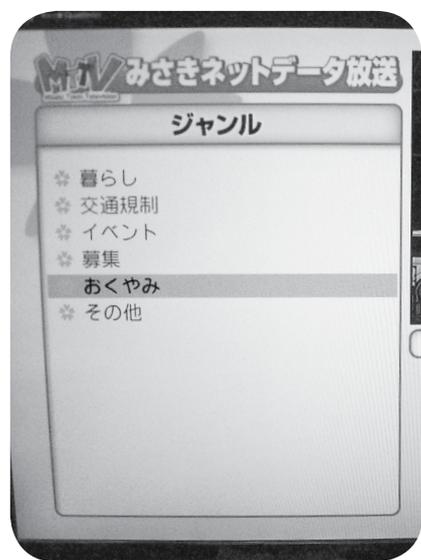
町民が職員を身
近に感じられる方
策の一つとして告知放
送を全職員が交代で担
当する方法に戻しては
どうか。



定本町長
職員の上手・下
手の問題や、職員への
放送指導の手間の問題
など課題もある。

現在、放送している
みさきネットの担当者
は、専門的な講習を受
けており、適任と考え
ている。

希望する職員には担
当させる考えである。



リモコンのdボタンで見ても

町政を問う

一般質問

下山和由 議員



進む高齢化社会に 早めの対応を

質問

行政と地域全体での 見守りが重要

答弁

問 全国的に人口減
少が進み、高齢化社
会がさらに進んでいる。
本町でも地区によつ
ては限界集落と言つて
も過言ではない状況下
にあり、独居老人、高
齢者世帯への対応が求
められている。

答 行政として独居老人
カルテなど作成し、各総
合支所に配布し、宿日直
者でも即対応できる体
制も大事ではないか。
以前より訪問が減つ
たとの声を聞くが、細や
かな対応はできないか。

答 福田福祉事務所長
27年4月1日現
在で、144人が一人
暮らし。
23年8月から災害時
要援護者等登録制度を
設け、事前に自分の情報
を町に登録し、避難援
助を受けることができる
体制を整備している。

答 桑元健康福祉課長
訪問については特
に力を入れているが、行
き届かない部分をサポー
ターなどに補っていただ
きながら対応したい。



見守りの輪を広げましょう

問 第4期対策中山
間地域等直接支
払制度がスタートした。
集落によっては、協
定から脱会者も出てお
り、今後さらに荒廃農
地の増大が予想される。
加入状況と今後の
維持について対応策
はあるのか。

答 事務手続き、提出書
類が難しいが、簡素化
できないか。
また、担当課からの
さらなる指導が求め
られるのではないか。



昔は田んぼだったのになあ…

答弁

集落営農組織など紹介する

質問

農地を荒廃させない方策は

交付面積は、1,000ヘクタールでは、100ヘクタールの減少が見込まれる。今後は、協定を取りやめる場合には、最低人数での存続を勧める。荒廃農地への懸念
には集落営農組織への紹介などにより対応していきたい。支所へも担当を設けている。担当へ相談してもらうことにより、提出書類の簡素化を図るよう努力したい。

質問

イベント時の駐車場に 中学校グラウンドを

町政を問う
一般質問

小林達夫 議員



答弁

学校施設としての維持が 優先のため考えていない



多目的な活用ができればいいのに
(中央中学校)

問

本町には「さくらまつり」「ぼっぼまつり」などいろいろな行事がある。

中でもふるさと夏祭りは、花火が間近で見られるということで町外からの来場者も多いが、毎年、駐車場が少ないという声をよく聞く。

たくさんの人に来てもらえるように、近くの中央中学校グラウンドを駐車場として使用する考えはないか。

答

泉教育長
グラウンド造成からまだまだ落ち着いておらず、緊急時や災害時

問

以外は、落ち着くまで車を入れない予定だ。イベント時には渋滞のため、近隣住民や商店が無断駐車をされ困っている。

グラウンド整備に費用がかかるなら、PTA主催で有料駐車場にし、その収益をグラウンド整備費にあててはどうか。

答

泉教育長
学校施設として部活動などで使っている。かつて駐車場として利用した時期もあったが、利用後、非常に困っていたと聞いている。今後、検討もするが現時点では考えていない。

質問

積極的なイベント参加で 地元PRを

答弁

卵を中心として意欲的に取り組む

問

本町は、「たまごかけごはん」や「たまごまつり」など卵に関連したイベントで町のPRを行っている。今後、さらなる町のPRにつなげる方策として▽卵料理のコンテスト▽日本一の卵焼きなど誰でも参加できるイベントを考案してはどうか。

答

定本町長
たまごまつりは久米郡商工会中央会の主催でやってもらっているの、質問の内容について伝えておく。今のところは卵を中心としてやっていきたいと考えているが、ほ

問

かにもピザ、アイスクリーム、焼酎などの商品も伸ばしていきたい。岡山ご当地グルメネットワークに産業課で「たまごかけごはん」を登録している。11月29日に「岡山グルメフェスティバルインみさき」が本町で開催される。

答

定本町長
町として積極的にイベントへ参加する考えはあるか。本町で開催されるグルメフェスティバルには、「たまごかけごはん」の出店を考えている。



この町をもっと盛り上げよう
(黄福広場)

町政を問う

一般質問

三船勝之 議員



農業構造改革の考えは 質問

複合型営農組織の設立を推進する 答弁



農業の進むべき道は

問

農業、林業は本町の基幹産業である。国は、農地の集約化をしながら大型農業に移行させる取り組みを進めている。

現在の本町の地形を考えると、大型農業にも限界がある。

合併10周年、地方創生元年にあたり、本町の気候風土に適した新しい農業形態推進の考えは、

答

畝本産業課長

集落営農組織の設立を図り、水稲中心の営農組織から果樹などの他の作物を加えた複合型の営農組織設立の

答

定本町長

推進を図っていきたい。

複合型農業へ転換を考えているが、今はブドウの推進に力を入れており、香港やシンガポールへも輸出している。

近隣でも台湾へブドウの輸出を始めており、産地間競争になってくれば、品物によって勝ち負けが出てくる。

近隣のブドウを中央地域のブドウ集荷場に集めることができれば、「美咲ブドウ」という名前が正式に使用、ブランド力も高まるのではないかと考えている。

近隣のブドウを中央地域のブドウ集荷場に集めることができれば、「美咲ブドウ」という名前が正式に使用、ブランド力も高まるのではないかと考えている。

質問

古民家修繕の補助金を制度化する考えは

答弁

さまざまな施策の必要性は感じている

問

定住促進には、子育て支援、少子化対策などいろいろな面からの施策が考えられるが、特に古民家の修繕などの補助金制度を条例化する考えはないか。

しっかりと条例化し、本町へ住んでもらえるような施策を打ち出すべきではと考えるがどうか。

また、単独町費でもやらなければ、定住者、移住者に本来に求めている町にはならないのではないか。

答

畑尾まちづくり課長

県外からの移住者の空き家改修に限定した県の補助事業はあるが、単独町費の補助



住みやすい町への第一歩 (古民家修繕)

についても考えていく必要は感じている。空家家については、片づけができていない家を大半である。まず所有者に片づけを促すような施策を考えている。

質問

美咲町のち・平和の日 制定を

町政を問う
一般質問

左居喜次 議員



答弁 さまざまな意見を伺い 協議する



命・平和の教育
今、そして明日、笑顔のために

問 住みやすい平和な社会を築いていくために、家庭、学校、社会全体で命・平和について学び、考えることが必要ではないか。家庭においての教育が特に大切と思われるが、本町の小学校、中学校での命・平和の教育はどのように行っているのか。

また、町民みんなで命・平和について学び、考える「美咲町のち・平和の日」を制定してはどうか。

答 泉教育長
具体的に、小学校では平和集会を設け、平和に関する視聴覚教材の視聴、地域の方をお招きしての平和学習などを行っている。中学校では、修学旅行での平和学習を行っている。

また、毎年11月には3中学校合同で経験豊富な外部講師による心と命の人権教育講演会を実施し、保護者にも参加を募っている。

「美咲町のち・平和の日」制定については、さまざまな機会を通じて幅広い意見を伺いながら協議する。

質問

両山寺の護法祭を 国宝へ

答弁 できる方法を県に確認したい

問 今年で740回目の祭典が執り行われた両山寺護法祭だが、後継者不足が懸念されている。

現在は、岡山県指定重要無形文化財、美作の護法祭として国選択無形民俗文化財となっている。今後、国の重要無形民俗文化財に指定されれば存在機運も高まり、地域の活性化にも役立つと考えられるが、働きかける考えはないか。

また、祭典時に使われる遊歩道は、平成4年に整備したが、年数の経過とともに傷んできている。整備はできないか。

答 鈴鹿生涯学習課長
大変長い歴史と伝統ある奇祭として、護法祭は後世に伝えるべきものだと考える。

平成6年に美作の護法祭記録作成委員会により学術調査を行い、文化庁へ調査書が提出されている。それに基づいて国が調査し認定、登録となる。

現在は両山寺と久米南町の2つの寺で護法祭が行われているため、久米南町の教育委員会とも相談し、国宝へ登録できる方法を県にも確認したい。

遊歩道については調査し、早急に回答したい。

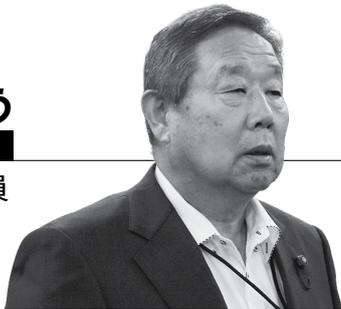


8月14日 深夜 神が跳ぶ
(山陽新聞社から提供)

町政を問う

一般質問

片山 剛 議員



住民の要望に添った 道路整備を

質問

費用面の問題はあがあるが
できる限り整備していく

答弁



生活道路の改善を

問 町道百々―安井線は、民家が多く対向車と行き違うのが難しい状況がある。拡幅ができる範囲は拡幅を、できない範囲に待避所設置はできないか。

答 國宗柵原総合支所産業建設課長
用地取得の問題や予算確保が非常に厳しいが、今後、待避所の設置、交差点部分の改良について、検討していきたい。

答 定本町長
直角になっていく交差点部分を地権者にお願ひし、回りやす

問 旭地域へ行く場を通過しているが、中央地域から直接行けるような町道、県道の整備が必要ではないか。

答 矢木建設課長
今年度から起債事業で西尾線の改良工事1,200mを計画している。西尾線の改良ができる旭地域から中央地域に向け、安全でスムーズな道路交通の確保がある程度できると考えている。

くする方向でやりたい。旭地域へ行く場を通過しているが、中央地域から直接行けるような町道、県道の整備が必要ではないか。

問 今年度から起債事業で西尾線の改良工事1,200mを計画している。西尾線の改良ができる旭地域から中央地域に向け、安全でスムーズな道路交通の確保がある程度できると考えている。

県道2路線の整備については、毎年度当初に要望書を提出している。

くする方向でやりたい。旭地域へ行く場を通過しているが、中央地域から直接行けるような町道、県道の整備が必要ではないか。

問 今年度から起債事業で西尾線の改良工事1,200mを計画している。西尾線の改良ができる旭地域から中央地域に向け、安全でスムーズな道路交通の確保がある程度できると考えている。

6月でないと同前の所得が確定せず介護保険料が決まらないため、4月、6月の年金支給月には、2月と同じ金額が年金から控除される。

6月に介護保険料が決定し、それに基づき8月の年金から4・6月の差額分も追加されて控除され

6月でないと同前の所得が確定せず介護保険料が決まらないため、4月、6月の年金支給月には、2月と同じ金額が年金から控除される。

6月に介護保険料が決定し、それに基づき8月の年金から4・6月の差額分も追加されて控除され

問 介護保険料が高くなったが、その仕組みを町民にわかりやすく説明を。

答 桑元健康福祉課長
27年度から第6期の介護保険事業に入るが、保険料が上がり、いろいろな機会です説明を重ねて、地域で要望があれば出向いている。

なぜ8月分の 介護保険料は高かったか

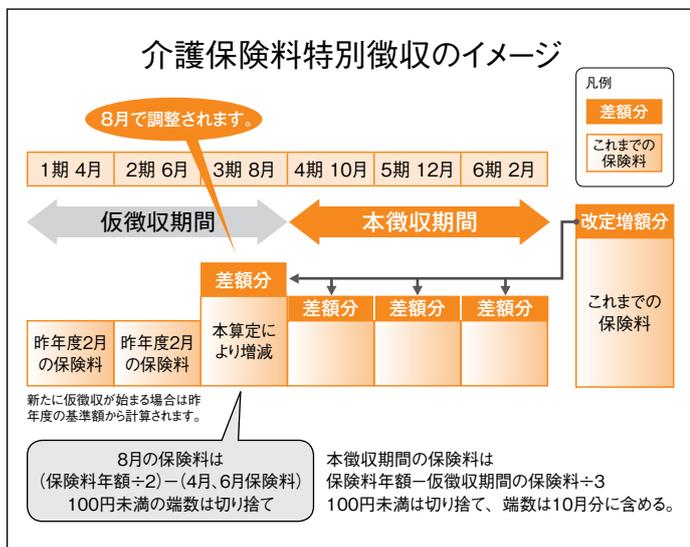
特別徴収の仕組みでやむを得ない

問 介護保険料が高くなったが、その仕組みを町民にわかりやすく説明を。

答 定本町長
年金額の低下、介護保険料の値上が

そのため、8月分の控除額が大きくなった。10月分からは8月の控除額よりは下がる。

高齢者福祉の観点から65歳以上の5,700人に、来年度、平等に給付金を支給するように考えている。



質問

通学路の危険を 取り除く努力を

町政を問う
一般質問

形井 圓 議員



答弁 関係者と協議し検討していく



危険回避の取り組みを

問

小原から加美小
学校への通学路が完
成したが、ガードパイ
プの設置がない箇所がある。

深さが2mを超える
コンクリート側溝があ
り、大変危険である。

こうした危険極まり
ない箇所に、なぜガー
ドパイプが設置されて
いないのか。

答

矢木建設課長
コンクリート擁
壁の下には農用の大
型水路が施工されてい
るが、通学路として危
険だとの指摘もある。

教育委員会、農家と
協議をし、ガードパイ
プ設置を検討していく。

問

原田上町から加
美橋にかけて防犯
灯がなく、通学路とし
て大変危険である。

また、柵原地域のみ
通学路の防犯灯管理を
町が行っている。統一
すべきではないか。

答

石戸教育総務課長
約400mの区間
が通学路であり、高校
生、一般の人も徒歩や自
転車で通行している。

県道のため自治会長、
県と協議していきたい。

答

定本町長
柵原地域の通学
路防犯灯を管理してい
るが、他の件も含めて
徐々に標準化していく。

質問

危険箇所整備については その都度要望すべき

答弁

優先順位を再検討し提出する

問

県事業の要望は
年1回と聞いている
が、随時要望できな
いか。

特に県道大戸上・中
央線で1車線しかない
区間があり、事故も多
発している。

原田・新城・金堀の
3自治会長から要望が
出されていると聞く。

民家に隣接する危険
な河川堤防があったた
め、県に直接要望に行
ったところ、危険箇所



要望には即時対応が望まれる

答

矢木建設課長
緊急性のあるも
のから優先順位をつ
け、年1回要望してい
る。

県に確認したところ、
緊急性のある場合は
追加しても良いとの
回答であった。

優先順位を再検討し
て提出していきたい。

町政を問う

一般質問

岩野正則 議員



有害鳥獣対策に 今以上の取り組みを

質問

箱わなの効果を試行する

答弁



箱わなの効果はこのとおり!!

問

有害鳥獣対策として、柵、ワナなどの設置の補助対策はどうか。

また、免許取得者数、配置の状況はどうか。

答

畝本産業課長

26年度実績では、延長約50km、108件の防護柵が町内に設置されている。

免許取得者数は、中央34人、旭44人、柵原46人である。

26年度は、イノシシ、シカを合わせて1,100頭の駆除であった。改めて、免許取得方法など情報をお知らせし、免許取得者増員に努めていきたい。

問

町民から、被害を減らしてほしいと願う悲痛な叫びも聞いている。今以上の取り組み、他市町村に負けない取り組みが必要ではないか。

答

定本町長

箱わなを試行してもらおう予定で、今回1地区ごとの猟友会に20万円支給し、効果を見定めたい。

問

免許取得者の高齢化が進んでいる。担当職員、議員にもさらに努力し、免許取得を応援すべきでは。

答

定本町長

補助金も出しており、PRしていきたい。

質問

町が元気になる取り組みを

答弁

本町に合った施策を考える

問

食堂かめつち。などから発信・活用・町観光地図の作成など集客の現状と目標は。

答

畝本産業課長

これまで観光地図が入った「美咲黄福パス」を作成しており、2回増刷した。

さらに充実させ、新橋のアンテナショップなど活用し集客に努める。

問

6次産業化対策、商品開発、オフイス誘致など、補助制度の充実を図るべきではないか。

答

畝本産業課長

新たな商品開発に取り組みしており、26年度は4団体と個人、27年度は5団体と

問

個人に補助金を交付した。ぼっぼまつりで6次化専用ブースを設け、PRや消費者の志向などの調査を行いたい。

問

オフイス誘致については、商工会、関係部署と協議していきたい。町中の拠点づくり、核になる場所

答

定本町長

づくりの検討が早急には必要ではない。国が、小さな拠点の中に商店、病院などをまとめたコンパクトシティを目指す政策転換を進めており、こじんまりとした町づくりを考えている。



元気な美咲町の発信源

質問

マイナンバー制度の メリットとは

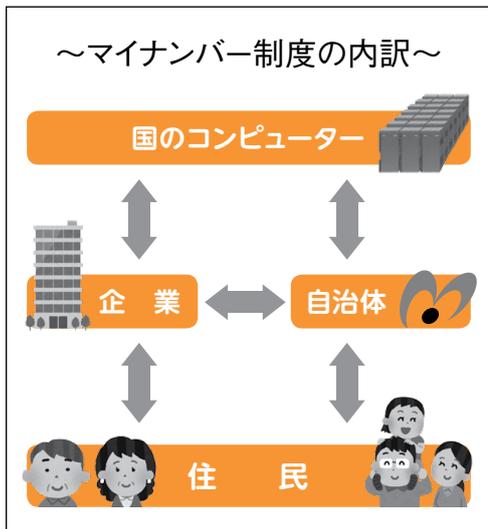
町政を問う
一般質問

松田英二 議員



答弁

役場に対する手続きが 簡素化される



問

国は「マイナンバー法」を平成25年5月に成立させた。今年10月には国民一人一人に個人番号が通知され、来年1月から制度が施行される。

かつて夢物語とされていた国民総背番号制が現実のものとなるわけだが、この制度が住民にもたらすメリットとはどのようなものか。

答

高田住民課長
マイナンバーは、

国や市町村が管理する個人情報データを正確に確認するための基盤となる。これを確立させることで各機関が分散管理

している情報の連携がスムーズとなり、住民の利便性向上、行政の効率化に結びつけていく。

例えば、役場に対して申請をする際に住民票や所得証明などの書類を取得する必要があるので、マイナンバーを利用すればこれが不要となり、手数料を負担しなくてよくなるなどのメリットが考えられる。

答

定本町長

将来的には、役場に対する全ての手続きを1枚のカードで完結させることができるというワンストップサービスの実現を目指す。

質問

地方交付税の減額は 緩和されないのか

答弁

6割程度緩和されると 想定している

問

本町の歳入の半分を占める国からの地方交付税は26年度は54億円であったが、合併特例が終了した27年度から5年間をかけて段階的に減額され、32年度には約10億円減額されて44億円となる

ことが想定されている。総務省では、ある程度の緩和策を検討しているようだが、現時点での見直しはどうか。

答

木谷総務課長
全国の市長会などさまざまな団体が国に対して地方交付税減額の見直しを要望している。

これを受けた総務省

問

では、予定されていた減額幅を6割程度緩和する案を検討している。現時点で5年後の本町に対する地方交付税は4億円程度の減額を想定している。

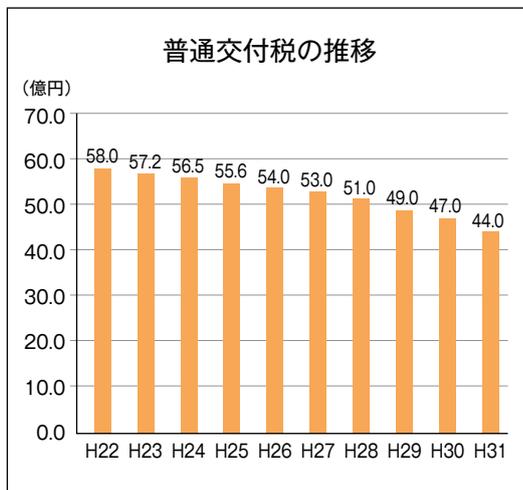
問

国が緩和策を検討しているのであれば、27年度から減額された美咲町協働のまちづくり交付金について見直す考えはないか。

答

定本町長

27年度から協働のまちづくり交付金を1割程度減額している。周辺の類似団体と整合性を採っているため見直す予定はない。



町政を問う

一般質問

松島 啓 議員



地域包括ケアシステムの構築を

質問

医療と介護の各サービスを連携させる

答弁



ワンデイカフェでほっとひととき

問

介護保険制度の仕組みは、高齢者などの介護を社会全体で支え合うことで、その理解を広めることが重要である。

29年度からの地域包括ケアシステム構築に向けての理念および計画は。

福祉用具貸与、購入および居宅介護住宅改修などの制度があるが、申請から入金まで時間がかかり高齢者の家計を圧迫している。サービスを向上の面から前払いにできないか。

答

村島地域包括支援センター長
地域包括ケアシステ

問

ムは、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、地域の包括的な支援、サービス提供を各機関が連携して行うことである。

特に、各サービス間の連携不足、情報収集不足が問題で、まず医療と介護の連携を図っていく。

答

桑元健康福祉課長
依頼があれば、介護保険について説明に出向いている。
近隣には、福祉用具の貸与、購入および住宅改修費を行政が指定業者に直接払う「委任払い」を行っている自治体もあり検討したい。

質問

ごみの分別、排出方法の徹底を

答弁

広報紙や冊子などで周知する

問

27年12月から町内の一般廃棄物は全て津山市領家の新グリーンセンターで処分される。

それに伴い、分別、排出方法などが変わるため、町内各地域で説明会が行われた。

説明会の状況および課題は。

答

高田住民課長
ゴミステーションの施設が各地域で異なるが、今後の対応は。
町内各地域で説明会を行い、多数の参加があった。
今後は、広報紙、冊子、カレンダーなどで分別方法など周知したい。
ゴミステーションは、各地域で異なっており、新

問

たに統廃合する場合の補助金、既存の施設整備には原材料支給などを考えている。

答

森廣柵原総合支所長
柵原地域の場合は、現在のところ燃えるゴミの収集を月に6回実施している。

問

制度が変更になった段階で、収集方法を月4回(週1回)に統一するように説明させていた。このほか、さまざまな課題や疑問についても随時対応していく。



12月1日からゴミの出し方が変わります

質問

ふるさと納税に美咲町ならではの返しを

町政を問う
一般質問

山本宏治 議員



答弁

専門家のノウハウも取り入れ検討する

ふるさと納税寄附実績

年度	件数	寄附金額
25年度	7件	1,138,114円
26年度	16件	2,333,457円
27年度 (7月末現在)	53件	1,620,000円

問

近隣町村では、ふるさと納税で6次産業など地域の特産品開発に官民あげて取り組んでいる。

最近では、お墓の掃除や管理などもふるさと納税の対価としている自治体もあるようだ。全国発信の原動力になるような良いアイデアがないか。

答

木谷総務課長
今年度は、27年8月末現在で、53件、162万円のご寄附があった。

いろいろなアイデアを出し、他市町村並に返礼品の種類を増やすこと、申し出者の負担を少なくする制度の導入が重要だと考えている。

岡部副町長
農作物の6次化や商品開発などを進めてふるさと納税と連動させ、町内の産業に弾みがつくきっかけになればと考えている。

問

南海トラフ大地震が起こった場合、安全・安心な地域ということと、ふるさと納税の対価として、一時避難場所を提供するなど、本町独自の特別なものを考えるべきではないか。

答

定本町長
現段階では、本町のピオーネの宣伝に重きを置いているが、専門家のノウハウも取り入れて商品開発の相談もしたい。

質問

電気柵の安全使用の徹底を

答弁

確認を進め注意喚起を促していく

問

静岡県西伊豆で不幸にも電気柵による事故で犠牲者が出たが、全国で鳥獣被害に苦慮し、電気柵が防獣対策として使用されている。

本町でも電気柵の補助金制度があるが、申請時などに安全対策について十分な説明をしているのか。
また、本町の調査指導はされているのか。
危険告知看板の有無である。
県事業で設置された電気柵は調査済みで、違反行為はなかった。
町事業分は、確認作業を進めている。
事故発生後、町ホームページや広報で注意を呼びかけ、新たな設置者に向けては、電気柵の設置に関するQ&Aを配布し、注意喚起していく。

答

畝本産業課長
電気柵の確認内容は、漏電防止装置と



電気柵には近寄らない「あぶない」

町政を問う

一般質問

金谷高子 議員



柵原中学校その後の検討は

質問

耐力度調査を早急に実施していく

答弁



移転新築を待っている柵原中学校

問

柵原中学校の施設老朽化が著しく進んでいる状況だ。26年度も緊急修繕費が1千万円かかっており、今後も毎年修繕費が続くと思われる。

答

前回、長寿命化か移転新築かとの質問に対し、調査をするという答弁であったが、その後の状況はどうか。泉教育長 国は、公共施設長寿命化の方針を示している。

まず、校舎の耐力度調査を実施し、共同調理場の老朽化問題と合わせて検討していく。調査の結果を踏まえ

問

検討委員会の設置も視野に入れている。しかし、耐力度の数値が基準値を上回ると、国・県からの補助金が限定的なものになるため判断が難しくなる。

答

国は来年度から小・中一貫校の制度を導入する。本町の将来展望の中で小・中一貫制度をどのように位置づけるつもりなのか。泉教育長

小・中一貫校については、教員免許の問題もあり、今すぐ取り入れることは難しいが、今後の推移を見ていきたい。

質問

気兼ねなく利用できる サポートセンターに

答弁

現状を踏まえ社協と連携していく

問

本町は岡山県初のモデル事業として安心生活創造事業に取り組んできた。養成されたサポーターは、本格的に地域のサポーターとして活動されているが、養成講座の受講人数と役割は。

生活援助を利用すれば有料と聞いているが、利用はあるのか。勝央町では、ファミリーサポートセンターができているが、本町としての取り組みは。

答

村島地域包括支援センター長 受講人数は約400人。登録者数は中央地域124人、旭地域62人、柵原地域116人。

問

役割は、巡回訪問と500円の商品券で1時間簡単な生活支援をしてもらえる契約訪問の2つを企画している。

勝央町は有料で、サポート会員とお願いし、新しい総合事業として運営されており、本町の契約訪問と似ている。

問と似ている。

チラシなどで契約訪問のPRに努めたが利用希望の実情と合わず、現在利用はない。

社会福祉協議会と連携し、新しい総合事業との兼ね合いも考えながら整理していく。



サポーターさんと楽しい会話
いつまでもお元気で

質問

公共施設の管理計画 策定はまだか

町政を問う
一般質問

岡田 壽 議員



答弁

早急に策定し特例措置活用も 考える

問

国から公共施設の管理計画策定を求められる2年が経過した。

26年3月には解体撤去を検討と答弁されたが、公共施設の存廃は住民にとって大きな関心事である。

その後の進展は。

国は解体費用について特例で地方債(借金)を認めるとしていた。

公共施設管理計画はいつ策定できるのか。

答 畑尾まちづくり課長

公共施設の管理計画が必要であり、28年度中に建物、橋、道路など含めて人口動向

を予測し、総合管理計画の策定を進めている。

統廃合の方針は、施設の配置状況、類似施設、近隣町村の施設状況を考える。

また、まちづくりの観点から公共施設再配置計画を策定する。

町民にとっても大きな関心事であり、計画策定中も情報を発信し、ご理解をいただくよう努める。

国の特例措置は29年度までであり、早急に総合管理計画を策定し、必要なら特例措置を活用したい。



いつまでできる、施設の維持管理

質問

地元に残る人へも恩恵を

答弁

地域で定住できる施策を検討

問

移住定住支援事業は具体的に、町営分譲住宅団地等購入補助金、賃貸住宅家賃補助があるが、利用できるのは移住者と親元を出た者だけである。

地元に残って親と同居する者には恩恵はない。人づくり、地域づくりを唱えるなら、親元、地元に残った人にも活用できる事業を考えるべきではないか。

答

畑尾まちづくり課長 現行制度は、家を建てる

持たない人が家を建てる際の財政的支援策である。親と同居し、地元に住むことは、地域活動

問

や住民に安心感ができ、有益だと考える。地方創生総合戦略の中で検討し、提案していきたい。

答

高田住民課長 民間活力利用型若者住宅施策の家賃助成は、43世帯で約64

5万円である。結婚後に、親元を離れる場合と、他市町村から転入される場合の二通りある。

この家賃補助制度も見直したい。

また、時間を要するだろうが、地域で定住できるような施策を検討してみたい。



団地には家が並ぶのだが…

美咲町初の

こども議会開催が決定しました

えっ?!
中学生が議員?!



日時：平成27年12月10日(木)13:30~

場所：美咲町役場3階 議場

美咲町10周年記念事業

【こども議員・こども議長】

美咲町内中学校の生徒会代表が町長に質問します!

42号表紙の6年生

◆かわいい巫女さんたち (柵原西小学校)



左から
よねもと あいり
米本 愛梨ちゃん
たにかわ ひな
谷川 陽菜ちゃん
かなだに こゆき
金谷 小雪ちゃん
おかだ ゆきな
岡田 雪菜ちゃん

◆笑顔はじける美咲中央V.B.C (美咲中央小学校)



左から
おおたに さかえ
大谷 榮ちゃん
かわむら なお
河村 菜緒ちゃん
ほんがん みちこ
本元 道子ちゃん
やすい ことり
安井 琴梨ちゃん
きど みさき
城戸 美咲ちゃん
くさち ちの
草地 朕暖ちゃん
ほんだ ゆりな
本田 有理七ちゃん

ご応募ありがとうございました。

次回もお待ちしています!!

★うちの子みてみて!!★

「こんな表情撮れたよ!」「この笑顔どう!」

などなど、ぜひ議会広報編集特別委員会までお送りください。

- 写真の場合：709-3717 美咲町原田1735 議会事務局あて
- データの場合：gikai@town.okayama-misaki.lg.jp まで
- 募集写真：0歳から中学校3年生までの美咲町内在住のお子様の写真



保護者の連絡先を明記の上、お送りください。議会だよりに掲載をお願いする場合、ご連絡をさしあげます。

▶お尋ねは ☎0868-66-1128(議会事務局)

町民の皆さんこんにちは

サークル紹介
第23回

心も体もさわやかに



美咲町体育協会 中央支部テニス部

●いつ頃から活動していますか●

昭和55年頃から活動しています。

●どんな活動をしていますか●

毎週火・金曜日の月8回程度を目標に活動しています。

●メンバー構成は●

主にシルバー世代を中心に15人程度です。

●活動を始めたきっかけは●

シルバー世代の健康の保持を目的に活動しています。

●楽しいことは何ですか●

ゲームに集中することにより、ストレス解消になります。

●これからの活動は●

年代に関係なく、長くテニスを楽しめるように活動したいです。

●議会に一言●

スポーツの振興にご理解をお願いしたいです。

元気に歳を重ね

健康年齢を高めて下さい

編集
後記

紅葉だより
が聞かれ、ス
トブの暖が恋し
い季節となりました。

美咲の豊かな自然に
包まれた生活は、心の
中まで暖かさを与えて
くれます。

美咲町議会も合併10
周年を迎え、より町民
に信頼される開かれた
議会を目指し、日々活
動しております。

さて、私達広報編集
特別委員会の委員もこ
の2年半色々な研修に
参加し、研究と検討を
重ね、今回、この議会
だより42号を皆様にお
届けいたします。

これからも、町民の
皆様に親しんで読んで
いただけるような色々な
企画にチャレンジしてま
いりますので、皆様か
らの建設的なご意見
をお寄せください。

(延原記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 金谷 高子

左居 喜次

片山 正憲

延原 剛

江原 耕司